

総務

本委員会で議論・報告された主な内容については下記のとおりとなります。

① 宿泊税について

平成30年第4回定例会において可決され条例が成立した後に、総合政策課では税務課・観光課・総務課と連携しつつ、総務省の担当である総務事務官と提出書類の擦り合わせを行い、平成31年1月22日付けに法定外目的税新設協議書が提出されました。

② 旧東陵中学校校舎の利活用について

日本語を教える語学学校を検討している業者からのご相談はあったが、建物の改修費に関しては相手方の負担で協議を進めているが、改修に膨大な費用がかかることから話が進んでいない状況。

③ ふるさと納税について

品目の間口を広げる形で募集を随時かけていっている状況。支払いについても、現金・銀行納付のみではなく、携帯でのお支払いといった支払い方法を広げることを検討している状況。

厚生文教

平成31年第1回臨時会に向けて、福祉医療課・教育委員会・住民環境課より説明を受けました。

放課後児童クラブについての資料に対し福祉医療課からの説明では、ここ数年来、小学校6年生までの受け入れが実現できていない状況は認識しており、また、健常児、障がいのある児童ともども隔たりなく預かることとされておりますが、まずは受入体制を整備することが必要であり、人員が十分に確保されることが見通せない状況であるため、現時点では難しいと報告を受けました。



経済建設

平成31年第1回定例会に向けて、水道課・建設課・観光課・まちづくり新幹線課・農林課の各課より説明を受け、それぞれ質疑を行いました。(主に委員より質問のあった事項を記載)

■ 水道課関連

委員：山田地区は特に宿泊施設が増え、水量の増量が懸念されるが、今後の見通しは。

回答：2028年度までの見通しは立てているが、特殊な山田地区を鑑みて短期間で見直す予定。

■ 観光課関連

委員：ニセコ観光圏協議会で平成30年度に3町共同で行われた主な事業は。

回答：対外的なPR事業や、町内で配布されているエクスペリエンスニセコ、ニセコ町では星空をゴンドラで上がって見るような事業がある。

■ 農林課関連

委員：畑作構造転換事業は1年きりで終わる事業なのか。

回答：あくまでも平成30年度の事業として進めている。

■ 建設課関連

委員：ひらふ坂のロードヒーティングは通電にしないと望まれる効果が得られないと考えるが。

回答：北海道との間で契約時間の縛りがある中ではあるが、別の方法を確認したい。